

短期海外研修の成果の活用状況

令和6年度

テーマ	研修成果の活用
米国における道路メンテナンスについて 県土整備部 アメリカ	- 道路メンテナンスの先進国と言える米国において、維持管理・更新に係るトータルコストの縮減や新技術等の導入によるメンテナンスの高度化・効率化等に関する取組状況を調査することができた。 - 研修で得た知見から、千葉県の道路施設長寿命化修繕計画の充実化を図り、我が県における道路メンテナンスの取組推進に寄与することで、安定かつ持続可能な公共サービスの実現に取り組む。

令和5年度

テーマ	研修成果の活用
ドイツ、オランダとの文化交流の振興に向けた現地調査 環境生活部 ドイツ・オランダ	- 令和6年6月2日にドイツ・デュッセルドルフ市とアーティスト交換に関する協定を締結。双方の文化面での協力関係を具体的に進めるため、千葉県とデュッセルドルフ市により、滞在制作を伴うアーティストの交換事業を実施していく。 - 令和6年9月18日～11月17日に千葉市花見川区出身の花澤武夫氏が第1回の派遣アーティストとしてデュッセルドルフに滞在。翌年2月27日～3月16日に県立美術館内で成果展を開催。 - 令和7年10月～12月にかけて、デュッセルドルフ市からアーティスト1名が来日し、県立美術館で滞在制作及び成果展開催を予定。
台湾原住民族のキョンの狩猟方法に関する調査 環境生活部 台湾	- 原住民族から得た知見を踏まえ、令和6年度はキョンの捕獲に適したくくりワナの改良に関する実証実験を実施。 - 実証実験で得られた知見をキョンの捕獲に取り組む市町村や捕獲従事者等と共有することで、キョン捕獲の一層の強化を図っていく。
ドイツにおけるスタートアップ国際展開支援策に関する調査 商工労働部 ドイツ	起業家育成、スタートアップ支援に力を入れている千葉大学や国立がん研究センター東病院と連携し、スタートアップの国際展開や外国スタートアップの誘致を進めていく。
流域治水におけるグリーンインフラ活用の先進事例調査 県土整備部 シンガポール	- 流域治水の推進にあたっては、あらゆる関係者の意識醸成が重要であり、自治体職員や流域関係者等との情報共有を進めている。 - グリーンインフラ活用の取組や効果を様々な媒体を用いて広く情報発信し、関係者の更なる意識醸成を図っていく。
ウォーカブルなまちづくり（居心地が良く歩きたくなるまちなか）について 県土整備部 ドイツ・オランダ・ベルギー	- 日本の都市計画の手本となったドイツや近隣のオランダ、ベルギーの都市では、市民自らの手で歩行者優先のまちづくりをしていくという意識の強さが行政を動かし、官民連携で地域全体の賑わい創出に取り組んでいる状況を把握できた。 - 研修で得た知見をもとに、県及び市町村において県内事例と比較研究することにより、県内におけるウォーカブルなまちづくりの実現に向け検討していく。